

第4回 南アルプス市総合計画審議会 議事録

日時： 令和6年3月13日(水) 午後7時00分

場所： 南アルプス市役所 本庁3階 大会議室

出席： 16名

欠席： 6名

事務局： 南アルプス市(内田副市長、櫻本総合政策部長、依田総合政策部理事、他3名)
公益財団法人山梨総合研究所

(次 第)

1. 開 会

2. 副市長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 議 事

(1)第3次南アルプス市総合計画の基本構想(素案)について

(2)第3次南アルプス市総合計画の将来像(素案)について

5. その他

6. 閉 会

(配布資料)

(1)第3次南アルプス市基本構想(素案)

(2)第3次南アルプス市総合計画の将来像について

1. 開会

中澤副会長：本日は、寒いなか、また夜分にも関わらず、第4回南アルプス市総合計画審議会にお集まりいただき、感謝申し上げます。本審議会も4回目の開催となる。これまでの審議会や市民意識調査、市民会議等の意見を踏まえるなかで作成された基本構想(素案)と将来像(素案)「ひとがつどい 次世代につなぐ 活力あふれるまち 南アルプス ～自然と暮らしが調和した幸せ共感都市～」に対して、忌憚のないご意見をお願いし、開会とする。

2. 副市長あいさつ

内田副市長：本日で4回目、今年度最期の審議会となる。

来年度は策定に向けて、更に本格的な協議をしていくこととなる。本日は、第3次南アルプス市総合計画の基本構想(素案)と将来像(素案)を議題としており、非常に重要な案件となる。多くの意見をいただくとともに、来年度につながるよう積極的に議論を交わしていただくことを願います。

3. 会長あいさつ

今井会長：本日の議題となる基本構想(素案)と将来像(素案)に関する資料を拝見させていただいたところ非常に素晴らしいものが出来あがっていると感じた。今年度、皆様からご意見をいただくのは本日最後である。事務局から資料の説明をしていただくので、積極的なご意見を願います。

4. 議事

司 会：議事進行は、今井会長に願います。

(1)第3次南アルプス市総合計画の基本構想(素案)について

今井会長：議題(1)について事務局より説明を求める。

事 務 局：(資料、第3次南アルプス市基本構想(素案)、に基づき説明)

今井会長：幸福度を6.8点から7.0点に上げることを目標とするとのことだが、他の県や市町村や全国がどのくらいの点数なのかデータはあるか。

事 務 局：他自治体のデータは今持ち合わせていない。山梨県及び県内市町村の点数は全国と比較してやや低目であることは把握している。

新津委員：10ページにふるさと納税についての記載があるが、内訳としてどういった品物が人気なのか分かるか。

事 務 局：やはり果物、特にシャインマスカットなどが人気だが、他市町村との競合もあり、昨今はやや状況も変わってきている。

中澤委員：本市は比較的社会増が多いが、入ってくる人が多いということと幸福度にはどういった関係があるのか。

事務局:本市では子育て政策に力を入れている。住む場所を選ぶ際にこれは大きな要素であり、アンケート結果でも30代40代の幸福度が比較的高めなのが、数字に表れてきているものと考えられる。

有野委員:今回政策の7つの柱を提示されたが、この内容で確定ということか。

事務局:市民や庁内からいただいた声を踏まえて作成したものであり、本日の審議会の意見を踏まえ、問題ないようであればこれで進めていきたいと考えている。

折居委員:子育てなどは一般受けする話だが、これからの世の中を考えると高齢者の話をもう少し前面に出してもいいように思う。また、人口が増えたことには、不動産業者と住宅メーカーの尽力も大きかったと思うので、一言お伝えしておきたい。

事務局:高齢者については、政策2において高齢者福祉や健康づくりなどについて記載しているので、ご理解を頂きたい。

竹野委員:28ページに記載されている「果物のブランディング」というのは、誰がどのように進めていくイメージか。

事務局:市の施策として進めているところであるが、農協や商工会などの関係機関と連携しながら進めていく。

小池委員:ユネスコエコパークの理念を踏まえ、保全するだけでなく活用していくということについて、29ページの冒頭に観光資源として活かしていくという記載はあるが、産業のことにはあまり触れていないように思うがいかがか。

事務局:ご指摘のとおり、ただの保全ではなく活用も図っていくということで、両論併記している。産業については、3つめの項目で南アルプスIC周辺の開発について触れているほか、主に政策4の部分で記載しているところである。

今井会長:17ページの「市民の幸福度(性別・年齢別・居住年数別)」について、「性別:その他」の幸福度が5.0と低くなっている。おそらく分母となる対象者数が少ないことが原因と思われるが、誤解を招きかねないのではないか。

事務局:記載方法について、検討する。

折居委員:第2次計画と第3次計画で何が変わっているのか。

事務局:将来像については、新たな10年を見据えた新しいものとしていく内容としている。また、政策についても内容の見直しを行い、柱を5本から7本としたところである。

今井会長:他に発言を求める。
(特になし)

(2)第3次南アルプス市総合計画の将来像(素案)について

今井会長:(2)について、事務局より説明を求める。

事務局:(資料、第3次南アルプス市総合計画の将来像について、に基づき説明)

今井会長:委員から発言あるか。

竹野委員:メインタイトルとサブタイトルを逆にしてもよいのではないか。

事務局：ご指摘を参考に検討する。ただし、今回は、こどもや若者にとって分かりやすい表現となるよう、現在の表記で検討していることをご理解頂きたい。

今井会長：現行の将来像(素案)は伝えたいことがイメージしやすく感じる。他に発言を求める。
(特になし)

今井会長：では、本日いただいた意見は、できる範囲で反映していただくなど、事務局でよくご検討いただければと思う。これで、予定されていた議事はすべて終了とする。

5. その他

司 会：5.その他として、意見はあるか。

折居委員：総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画といった構成となっている。

実施計画とあるが、実施とは実行することであり、いつまでも計画をしていては、永久に何もできないと思われるがいかがか。

事務局：実施計画とは、第2次総合計画でいうと33施策に紐づく事務事業の3年間分を計画するものである。この事務事業については、毎年評価を行っており、向こう3年間分の実施計画となるよう随時更新しているところである。

司 会：他に意見はあるか。

事務局：今年度の審議会運営にご協力いただき感謝申し上げます。

来年度においてもご理解ご協力いただくようお願い申し上げます。

6. 閉会

新津副会長：長時間の審議にご協力いただき感謝申し上げます。総合計画における基本構想(素案)と将来像(素案)について、多くの意見をいただき、将来像「人がつどい 次世代になぐ 活力あふれるまち 南アルプス ～自然と暮らしが調和した幸せ共感都市～」とまとまった。これからの10年間は、この将来像に向けて推進していくこととなるが、これは事務局だけの意見ではなく、審議会を含む多くの南アルプス市民の意見を踏まえ、提案されたものである。南アルプス市の行く末を楽しみにしつつ、よりよいまちとなるよう皆で協力していきたいと思う。本日は、これで閉会とする。

以 上